

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そだちの空間 LINKS名谷			
○保護者評価実施期間	令和6年11月1日 ~ 令和6年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数)	11名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日 ~ 令和6年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	法人内の交流の機会が設けられている	お花見・夏祭り・遠足・餅つき等の行事を行っている	子ども達の主体性を生かした行事内容にしている
2	関係機関との連携を行っている	学校や相談支援員との情報共有や会議等を行っている	全体での個別支援会議を行っていく
3	活動プログラムの工夫	個別活動や集団活動を織り交ぜ、個々に応じた活動の立案に取り組んでいる	活動後の反省を生かした立案を強化していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会・兄弟姉妹の交流会などの支援	開所後、利用人数が少なく開催を予定していなかった	今後利用人数が増えてくることが予想されるため、開催が出来るように準備を行っていく
2	家族の対応力の向上を図るために全体での支援プログラム（ペアレントトレーニングなど）	個別での対応に力を入れていたため	全体での支援が行えるように準備・検討を行い開催を行っていく
3	放課後児童クラブや児童館・地域の他の子どもとの交流会	開所後、利用人数が少なく地域の子ども達との交流の機会がなかった・児童館などの施設とのつながりがもてていない	地域の子どもや他事業所との交流の機会が設けられるように、事業所としてのイベントだけでなく招待し参加が出来るイベント等を検討していく

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名	そだちの空間 LINKS名谷		公表日	令和7年3月1日		令和6年11月1日現在	利用児童数	回収数	
						11名（兄弟関係あり）		10	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	91%	9%	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	91%				9%	基準を分かっていません	法令で必要とされている職員の配置を行っています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%					配慮されていると思います	子ども達が分かりやすいよう、視覚支援も取り入れ配慮を行っている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%					過ごしやすい環境になっていると思います	日々、室内の清掃・消毒を行い心地良く過ごせるよう心がけています
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%					はい	職員間でのミーティングを行い情報共有を行い全体での理解を行っています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	91%				9%	合っていると思います	支援プログラムを元に支援方法や療育活動を決めている
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%					思います	今後も聞き取りを元にニーズや課題を分析し個別支援計画を作成していきます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%					思います	子どもの発達段階と障害特性の把握に努め、その子に応じた支援内容を具体的に示しています
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100%					はい	今後も職員全体で支援計画の把握に努め支援を行っていく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	82%				18%	利用期間が短いため	毎月活動についての会議を行い、内容の検討・準備を行っています
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	27%	9%			64%	今のところ行っていると聞いていない	現在は同法人内のデイ同士の交流を行つていいが、今後地域の子どもたちとの交流の機会を設け活動を行いたいと考えています
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%					契約時に説明がありました	必要に応じて隨時説明も行います
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%					はい	計画書をお渡しする際には内容を説明し手渡しで行っている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特訓等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45%				55%	今のところ行っていると聞いていない	現在行えてないため、今後取り組んでいきたいと考えている
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100%					気になることなど丁寧に伝えてくれてい	今後も小さな変化に気付けるように努めています
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	91%				9%	面談の機会を設けて下さっています	今後も定期的に面談の機会を設け行ないます
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%					はい	職員全員が傾聴を心がけて対応している
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	36%				64%	今のところ行っていると聞いていない	今後、保護者会やきょうだい同士の交流の機会を設けていきたいと考えています

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%				はい	今後も適切に対応を行っていきたいと思います
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%				はい	今後も、職員全員が意思の疎通や情報伝達において配慮出来るように努めます
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	91%			9%	時々発信がある	今後も、情報発信を行っていきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%				はい	職員には研修を行い、周知を徹底している
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	91%			9%	されていると思う	引き続き周知を行っていく・職員には研修を行い訓練をしています
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	91%			9%	活動で避難訓練を行っててくれています	毎月、防災訓練を行い年2回以上の消防・通報・避難訓練を必ず行っています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	91%			9%	思います	今後も職員全員で危険察知に取り組んでいきます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	91%			9%	はい	契約時に説明を行っています
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%				居場所になっています	今後も安心して過ごせる居場所になるよう支援を行っていきます
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%				楽しみに通っています	引き続き、楽しみになるように関係を築き支援を行っていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%				満足しています	今後も満足して通っていただけますよう支援を行っていきます

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		そだちの空間 LINKS名谷				公表日 令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		学習・活動・遊びと時間や空間を決めて有効活用出来るように配慮している。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	75%	25%		法定基準の人数のみのため、緊急時の対応が難しいことが懸念されるため人員の補充を行う
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	子どもの発達段階や特性に応じた環境作りに配慮している・室内はフラットで1フロアのため過ごしやすい	トイレが教室の外にあり段差もあるため、事故・ケガの無いように工夫が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		掃除や消毒、各所にアルコール除菌剤の配置など心地よく過ごせるように清潔には配慮している	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		クールダウン場所や特性に応じた環境作りに配慮している	継続していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間をPDCAの検証・改善に繋げている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		アンケートの結果をミーティング内で共有し、課題を整理し業務改善に繋げている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		ミーティングや振り返りの時間に意見交換を行っている	意見を言いやすい環境を心がける
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	75%	25%		現在、第三者による外部評価を導入していないため導入を検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修会・ズーム研修会・ビデオ研修会や法人内研修などに参加をしている	全職員が研修に参加出来るように配慮していく
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		作成し今年度より公表を行っている	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		定期的、または必要に応じて面談・アセスメントを行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員全員でモニタリング会議・支援計画会議を行い作成している	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		日々打ち合わせを行い、支援方針の共有を行い行っている	強化していく
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		検査結果と日々の行動観察からのアセスメント両方を用いて全職員確認し周知している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		子ども達の発達段階と障害特性の把握に努め、個々に応じた支援内容を示している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		職員全員で意見を交換し活動プログラムを作成している	

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		個別活動と集団活動を織り交ぜて全員が療育活動に興味をもち楽しみながら参加出来るようしている	活動後の反省や子どもの様子を踏まえて内容を見直していく
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		発達段階や特性に応じて、個別活動・集団活動を組み合わせた計画書の作成し、計画に沿った支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		日々のミーティングにてその日の支援内容の確認・役割分担・活動時間などを確認しチームで連携し行っている	業務日誌等で変更等、全員が周知出来るように努める
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		振り返りを行い、日誌等に記入し全職員が確認出来るようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		個別記録・日誌等で記録を行い、全職員が記入出来るようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		6か月ごとのモニタリング会議を行い、達成度を確認し見直し等の検討を行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%		個々の状況に応じた様々な体験を活動に取り入れて、今の育ちが充実出来るよう支援している	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		それぞれの場面で自己選択の機会を設け、自己決定する力を養っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者や児童支援員が参画を行っている	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		体制を整えて行っている	継続して行う
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		下校時間・行事予定などはホームページを確認したり、送迎時に学校の先生に確認を行い時間があれば情報共有もまめに行っている	継続して連携を行う
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	75%	25%		現在、利用児の中に対象となる児童がいないため行っていない。今後対象となる児童が利用する際は行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		100%		現在、卒業し移行する児童がいないため行っていない。今後、卒業する児童に対しては情報提供を行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	75%	25%	研修会へは積極的に参加をしている	管理者や児童発達支援管理責任者だけでなく、職員全員が参加できるようにしていきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75%	25%	ダンス教室の子ども達との交流は行っている	今後定期的に交流する機会を設ける
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100%		日程調整を行い、参加をしている	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		連絡帳や送迎時に子どもの状況を伝えたり、保護者との面談を通して課題の擦り合わせを行った	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75%	25%		個別での支援は行っているが、全体への支援が出来ていないため行っていく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約時に説明をしてご理解を頂いている。変更時には文面にてお知らせをしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		所内で面談を行い、事前にアセスメントシートや子どもの様子を記入していただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		計画書をお渡しするときには内容を説明し手渡しで渡すようにしている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的な面談以外に、保護者様の話を聞く機会をもち、支援と助言に取り組んでいます	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		100%		現在行えていない。今後、開催が出来るように準備し行えるように努める
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		苦情があった場合は謙虚に受け止め、その事案に職員が迅速かつ適切に対応し、保護者の不安解消に努める。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		毎月おたよりの発行、活動内容や子どもの様子などをSNSで発信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		契約時に説明をしてご理解を頂き同意を得ている。職員には研修を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		子ども達には、視覚支援などを用いて伝え、保護者には時間を気にせず連絡が出来るようにLINEを活用していただいている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		現在は行えていない。今後、行事計画を立て開催できるように努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		それぞれのマニュアルを作成し、周知徹底を行っている。また、研修・訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		BCPの作成を行い、職員全員での周知徹底を行っています	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		契約時に必ず確認を行い、書面にも記入していただいている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	50%	50%		現在食物アレルギーをもつ利用児がない。今後必要な場合、必ず対応を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		必要な研修を行い、職員全員で危険察知に取り組んでいる	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		契約時に説明をしご理解を頂いている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		日々の生活の中で起きるヒヤリハットを記録し、検証・対策を行い、職員全員で危険察知に取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		定期的に研修を行い、風通しの良い職場作りを心掛けている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		契約時に説明を行っている。施設としての理念・方針などが記載された指針を来所時に閲覧出来るように掲示している。	